

<研究名称>

腹膜透析用カテーテル留置術後の転帰に関する多施設共同前向き観察研究

<実施責任者>

腎臓内科 小林 広学

<研究期間>

倫理委員会承認後

<研究の目的・意義>

多施設において腹膜透析用カテーテル留置術後の転帰について ISPD ガイドラインの評価基準(腸管穿孔 1%、大量出血<1%、カテーテル留置 30 日以内の出口部・トンネル感染<5%、カテーテル留置 30 日以内の腹膜炎<5%、死亡と計画的な治療法の変更を打ち切りとした 1 年開存率、透析液のリーク、創部感染)をもとに安全性を検証する。

<実施内容(方法)・危険性(副作用)等>

患者背景、手術方法、1 年以内での腹膜透析離脱の有無と離脱理由、ISPD ガイドラインの評価項目、開始時と 1 年後のカテーテル長 など

<倫理上問題になると考えられる事項、及びその他特記すべき事項>

なし。

<実施の責任者及び実施にかかわる者の氏名、役職、職名>

実施責任者 腎臓内科 部長 小林 広学

実施担当者 腎臓内科 副部長 松久 優雅

医師 西沢 慶太郎

医師 柏柳 杏美

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  
〒070-8530

旭川市曙 1 条 1 丁目 1 番 1 号

旭川赤十字病院 腎臓内科 小林 広学

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648